

平成22年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月3日

上場会社名 株式会社 ダイケン

上場取引所 JQ

コード番号 5900 URL <http://www.daiken.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 北脇 昭

TEL 06-6392-5551

四半期報告書提出予定日 平成21年7月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年2月期第1四半期 | 2,227 | — | △118 | — | △124 | — | △82 | — |
| 21年2月期第1四半期 | 2,633 | △9.0 | △20 | — | △21 | — | △12 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年2月期第1四半期 | △13.98 | — |
| 21年2月期第1四半期 | △2.17 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年2月期第1四半期 | 13,247 | 9,070 | 68.5 | 1,543.25 |
| 21年2月期 | 13,805 | 9,212 | 66.7 | 1,567.32 |

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 9,070百万円 21年2月期 9,212百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 21年2月期 | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |
| 22年2月期 | — | — | — | — | — |
| 22年2月期(予想) | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-------|------|------|------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期累計期間 | 4,800 | — | 35 | — | 25 | — | 8 | — | 1.36 |
| 通期 | 10,300 | △10.2 | 325 | △1.8 | 300 | 0.2 | 140 | 65.3 | 23.82 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 5,970,480株 21年2月期 5,970,480株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 92,638株 21年2月期 92,638株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年2月期第1四半期 5,877,842株 21年2月期第1四半期 5,880,161株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・平成22年2月期の業績予想に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想値となる場合があります。

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融不安の深刻化から景気後退が進み、企業収益の大幅な減少に伴って雇用情勢の悪化が顕在化するなど、非常に厳しい状況にあります。

建築金物業界におきまして、主力市場である建設業界は、消費マインドの冷え込みで企業による設備投資は減退し、また、経済環境を背景とした慎重な融資姿勢をはじめ上場不動産投資信託の低迷等によって不動産市況は悪化し、建設需要は低迷を続けております。当業界での企業間競争は激化し、極めて厳しい事業環境にて推移しております。

このような状況の中、当社は製造原価や配送コストの低減を積極的に進めるとともに、在庫品種の見直しや在庫数量の削減に加え、新設した成田工場の稼働によりエクステリア製品関連の倉庫賃借料の削減を図るとともに、一部工場の生産人員配置の適正化や欠員補充での採用抑制による人件費の低減などにより、販売管理費の低減に取り組んでまいりました。

また、商品説明会の開催や取引先の展示会にも参画し、販売先へ緊密な営業活動を進め、収益の確保に取り組んだものの、当第1四半期の売上高につきましては、エクステリア、建築金物などの急速な需要の落ち込みにより、全体として22億27百万円となりました。

利益面では、製造固定費や販売管理費の削減に努めておりますが、売上高の減少分を補うところまでいかず、営業損失1億18百万円、経常損失1億24百万円となりました。四半期純損失は、たな卸資産評価損38百万円を計上したものの、売上債権の減少及び貸倒実績率の低下に伴い発生した貸倒引当金戻入額31百万円を計上したため、82百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ5億58百万円減少し、132億47百万円となりました。これは、売上の減少に伴い売掛金が7億50百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ4億16百万円減少し、41億76百万円となりました。これは、仕入高の減少に伴い買掛金が3億81百万円減少したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ1億41百万円減少し、90億70百万円となりました。これは、前事業年度に係る配当金及び当第1四半期純損失により利益剰余金が1億52百万円減少したことが主因であります。この結果、自己資本比率は68.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純損失1億31百万円や仕入債務の減少4億8百万円により収入減となったものの、売上債権の減少5億90百万円、たな卸資産の減少1億2百万円や未払消費税等の増加93百万円などにより、2億6百万円の収入となりました。

当第1四半期会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、営業所移転などに伴い固定資産の取得による支出1億7百万円などにより、1億18百万円の支出となりました。

当第1四半期会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額により1億50百万円の収入があったものの、長期借入金の返済90百万円及び配当金の支払66百万円により、6百万円の支出となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ78百万円増加し、8億4百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成21年4月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成21年6月29日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 原価差額の配賦方法

予定価格等を採用しているために原価差額が生じた場合、当該原価差額の棚卸資産と売上原価への配賦方法を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において採用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間から平成18年7月5日公表の「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更により税引前四半期純損失が38,121千円増加しております。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当第1四半期会計期間より機械装置の耐用年数について、平成20年法人税法の改正を契機として見直しを行い、従来採用していた10～13年の耐用年数を10年に変更しております。

これにより、当第1四半期会計期間の売上総利益は1,983千円減少し、営業損失、経常損失及び税引前純損失は、それぞれ2,211千円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第1四半期会計期間末 (平成21年5月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日) |
|-------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,539,087 | 1,460,994 |
| 受取手形 | 2,525,363 | 2,366,062 |
| 売掛金 | 1,309,426 | 2,059,809 |
| 商品 | 4,655 | 10,112 |
| 製品 | 773,478 | 829,275 |
| 原材料 | 289,652 | 326,804 |
| 仕掛品 | 140,954 | 189,328 |
| 貯蔵品 | 31,114 | 24,908 |
| 繰延税金資産 | 132,323 | 82,822 |
| その他 | 84,455 | 73,014 |
| 貸倒引当金 | △1,919 | △33,858 |
| 流動資産合計 | 6,828,593 | 7,389,275 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 2,614,795 | 2,567,582 |
| 機械及び装置(純額) | 331,016 | 347,355 |
| 土地 | 2,254,893 | 2,254,893 |
| その他 | 205,154 | 267,011 |
| 有形固定資産合計 | 5,405,860 | 5,436,843 |
| 無形固定資産 | 45,713 | 38,780 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 318,592 | 298,944 |
| 関係会社株式 | 20,000 | 20,000 |
| 保険積立金 | 496,466 | 492,461 |
| 破産更生債権等 | 2,792 | 1,965 |
| 繰延税金資産 | — | 5,449 |
| その他 | 161,087 | 152,830 |
| 貸倒引当金 | △31,892 | △31,065 |
| 投資その他の資産合計 | 967,046 | 940,585 |
| 固定資産合計 | 6,418,620 | 6,416,209 |
| 資産合計 | 13,247,214 | 13,805,485 |

| | 当第1四半期会計期間末 (平成21年5月31日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日) |
|--------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 334,972 | 390,491 |
| 買掛金 | 1,274,372 | 1,656,264 |
| 短期借入金 | 1,660,000 | 1,535,000 |
| 未払金 | 121,394 | 209,339 |
| 未払法人税等 | 4,414 | 91,125 |
| 未払費用 | 134,317 | 121,881 |
| 賞与引当金 | 249,634 | 156,602 |
| その他 | 103,355 | 78,138 |
| 流動負債合計 | 3,882,460 | 4,238,842 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 55,000 | 120,000 |
| 役員退職慰労引当金 | 175,300 | 171,675 |
| 繰延税金負債 | 1,312 | — |
| その他 | 62,181 | 62,521 |
| 固定負債合計 | 293,793 | 354,196 |
| 負債合計 | 4,176,254 | 4,593,039 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 481,524 | 481,524 |
| 資本剰余金 | 250,398 | 250,398 |
| 利益剰余金 | 8,377,404 | 8,530,115 |
| 自己株式 | △53,228 | △53,228 |
| 株主資本合計 | 9,056,098 | 9,208,809 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,861 | 3,636 |
| 評価・換算差額等合計 | 14,861 | 3,636 |
| 純資産合計 | 9,070,959 | 9,212,445 |
| 負債純資産合計 | 13,247,214 | 13,805,485 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 2,227,376 |
| 売上原価 | 1,634,860 |
| 売上総利益 | 592,515 |
| 販売費及び一般管理費 | 711,042 |
| 営業損失(△) | △118,527 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 542 |
| 受取配当金 | 2,779 |
| その他 | 4,770 |
| 営業外収益合計 | 8,092 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 3,927 |
| 売上割引 | 6,002 |
| その他 | 3,784 |
| 営業外費用合計 | 13,714 |
| 経常損失(△) | △124,149 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 31,939 |
| 特別利益合計 | 31,939 |
| 特別損失 | |
| たな卸資産評価損 | 38,121 |
| その他 | 1,117 |
| 特別損失合計 | 39,239 |
| 税引前四半期純損失(△) | △131,450 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 950 |
| 法人税等調整額 | △50,222 |
| 法人税等合計 | △49,272 |
| 四半期純損失(△) | △82,177 |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成21年3月1日
至 平成21年5月31日)

| | |
|---------------------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純損失(△) | △131,450 |
| 減価償却費 | 84,015 |
| たな卸資産評価損 | 38,121 |
| 引当金の増減額(△は減少) | 65,545 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,321 |
| 支払利息 | 3,927 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 590,122 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 102,452 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △408,474 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △92,879 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △59,671 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 93,563 |
| その他 | 5,475 |
| 小計 | 287,425 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,258 |
| 利息の支払額 | △3,602 |
| 法人税等の支払額 | △80,296 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 206,785 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △107,137 |
| 定期預金の預入による支出 | △265,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 265,000 |
| その他 | △11,164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △118,301 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △90,000 |
| 配当金の支払額 | △66,079 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △6,079 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,310 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 78,093 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 725,994 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 804,087 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期会計期間累計(平成20年3月1日～平成20年5月31日)

| 科 目 | 前年同四半期 (平成21年2月期第1四半期) |
|----------------|---------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 2,633,394 |
| II 売上原価 | 1,854,430 |
| 売上総利益 | 778,964 |
| III 販売費及び一般管理費 | 799,196 |
| 営業損失(△) | △20,231 |
| IV 営業外収益 | 10,259 |
| V 営業外費用 | 11,889 |
| 経常損失(△) | △21,861 |
| VI 特別利益 | 8,615 |
| VII 特別損失 | — |
| 税引前四半期純損失(△) | △13,246 |
| 税金費用 | △492 |
| 四半期純損失(△) | △12,753 |

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

| 品 目 | 前年同四半期 (平成21年2月期第1四半期) | | 当四半期 (平成22年2月期第1四半期) | | 比較増減 (△は減) |
|--------|---------------------------|--------|-------------------------|--------|---------------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) |
| 建築金物 | 623,509 | 39.3 | 524,340 | 38.2 | △99,168 |
| 外装用建材 | 158,360 | 10.0 | 180,602 | 13.2 | 22,242 |
| エクステリア | 787,660 | 49.6 | 647,307 | 47.2 | △140,353 |
| その他 | 18,154 | 1.1 | 18,767 | 1.4 | 613 |
| 合 計 | 1,587,684 | 100.0 | 1,371,018 | 100.0 | △216,666 |

- (注) 1 金額については、製造原価で記載しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

| 品 目 | 受注高 | | 受注残高 | |
|-------|--------|----------|--------|----------|
| | 金額(千円) | 前年同期比(%) | 金額(千円) | 前年同期比(%) |
| 外装用建材 | | | | |
| 外装パネル | 11,897 | 26.4 | 96,847 | 72.8 |

- (注) 1 当社は、外装用建材の外装パネル以外の品目は見込生産で行っております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

| 品 目 | 前年同四半期 (平成21年2月期第1四半期) | | 当四半期 (平成22年2月期第1四半期) | | 比較増減 (△は減) |
|---------|---------------------------|--------|-------------------------|--------|---------------|
| | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) | 構成比(%) | 金額(千円) |
| 製品・商品 | | | | | |
| 建築金物 | 951,684 | 36.1 | 822,571 | 36.9 | △129,113 |
| 外装用建材 | 333,739 | 12.7 | 335,799 | 15.1 | 2,060 |
| エクステリア | 1,041,067 | 39.5 | 834,404 | 37.5 | △206,663 |
| その他 | 259,531 | 9.9 | 189,805 | 8.5 | △69,726 |
| 小計 | 2,586,022 | 98.2 | 2,182,579 | 98.0 | △403,442 |
| 不動産事業収入 | 47,372 | 1.8 | 44,796 | 2.0 | △2,575 |
| 合 計 | 2,633,394 | 100.0 | 2,227,376 | 100.0 | △406,017 |

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。